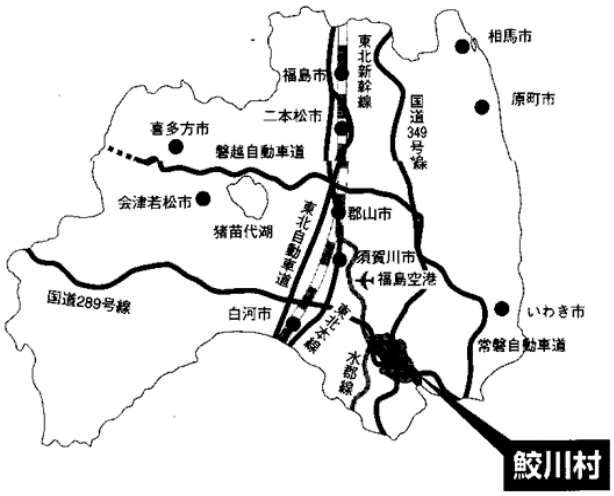
2023鮫川村勢要覧

●資料編●



沿　革

鮫川村に人が住みついたのは、村に残る高藪遺跡と姿平西遺跡から、縄文時代前期と推定されます。また、縄文時代中期から弥生時代後期におよぶ数々の遺跡も発掘されています。

この地方一帯は、上古は「陸奥」、中世は「赤坂の郷」と呼ばれ、中世以降は芦名氏、上杉氏、赤坂氏の所領、幕府直轄、さらに小見川藩、棚倉藩の所領と、次々に領主の交代がありました。

明治４年、廃藩置県により棚倉県と小見川県の所領となり、同年の合併により平県に所属、すぐに平県は磐前県と改称されました。明治９年に福島県が成立し、町村制が実施されました。明治 22 年、赤坂西野村、西山村、赤坂中野村、赤坂東野村、石井草村、富田村、渡瀬村の７か村が合併して、現在の鮫川村を構成しました。赤坂東野と石井草を併せて１行政区とし、他は旧村を１行政区として、６行政区で村政が行われました。昭和 22 年、地方自治法の施行により、町村制の村から地方自治法に基づく、地方自治体に。昭和 24 年、渡瀬区から青生野を１区に独立させ、７行政区となり現在に至っています。

自然

■位置

役場所在地	東経	北緯	海抜
鮫川村大字赤坂中野字新宿 39 番地 5	140 度 30 分 51 秒	37 度 02 分 40 秒	420m

■山岳

名称	所在	標高
朝日山	青生野（国有林）	797.3　m
小株山	赤坂東野字戸草	724.0
妙見山	石井草字森ノ前	674.9
弓張堂山	渡瀬字大戸中	658.0
山王山	渡瀬字木之根	654.7
殿山	赤坂西野字高小龍山	629.5
墓地石山	西山字余所内	580.3

■河川

水系	名称	延長
鮫川水系	鮫川	12.5　km
	戸倉川	2.5
	落合川	3.5
	石井草川	2.5
	真坂川	3.5
	内ヶ竜川	3.5
	富田川	4.5
久慈川水系	渡瀬川	17.0
	江竜田川	2.0
	大戸中川	2.5
阿武隈川水系	殿川	4.0

■気象

区分 / 年次	気温（℃）			降水量（㎜）			日照時間
	平均	最高（極）	最低（極）	総量	日最大	起日	
平成 27 年	11.0	34.6	-10.1	985.5	128.5	7/16	1392 時間/年
28	11.2	33.1	-10.4	1,331.0	180.5	8/17	1388 時間/年
29	10.4	33.6	-10.7	1,042.5	84.0	10/22	1335 時間/年
30	11.3	34.6	-14.1	976.0	72.5	8/28	1425 時間/年
令和元年	11.2	35.4	-9.8	1,456.5	257.5	10/12	2043 時間/年
2	11.3	35.8	-10.0	915.5	72.5	1/29	2072 時間/年
3	11.0	34.0	-12.0	1,436.5	58.0	7/28	1161 時間/年
4	11.0	34.5	-10.6	1,105.5	66.5	9/24	機器不調のため データ無し

（資料:農林商工課）

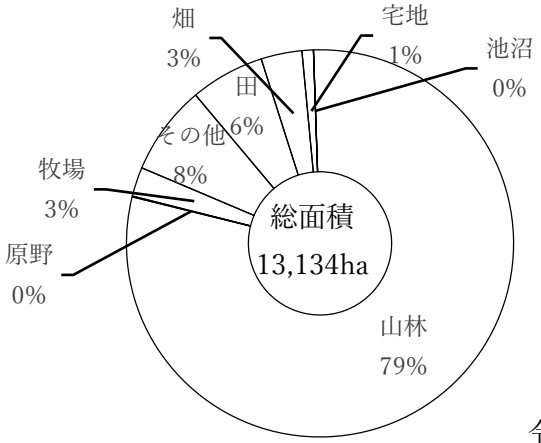
■月別平均気温（単位:℃）

区分 年次	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
平成 27 年	-0.2	-0.1	4.4	9.8	15.9	18.1	22.7	22.1	15.3	12.6	8.2	3.1
28	-0.4	0.9	4.3	10.2	15.5	18.3	21.3	23.1	20.2	13.0	5.7	2.7
29	-0.8	0.5	2.2	8.7	15.5	17.0	23.3	21.9	17.7	12.3	5.8	0.1
30	-1.4	-1.3	5.0	11.2	14.7	18.5	24.5	23.3	18.4	13.0	7.8	2.1
令和元年	-0.7	0.9	4.4	8.2	14.8	17.8	20.7	24.1	19.8	14.3	6.9	2.7
2	1.4	1.9	4.8	7.1	15.1	19.3	20.9	24.6	19.9	12.0	7.4	1.1
3	-1.5	1.0	6.8	9.0	14.6	18.6	21.9	23.1	17.5	13.0	6.6	1.7
4	-1.2	-1.1	4.7	10.4	14.0	18.2	23.2	23.0	20.1	11.6	7.8	1.0

（資料:農林商工課）

■地目別面積（単位:ha）

区分 年次	総数	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	牧場	その他
平成 27 年	13,134.0	806.0	438.0	124.0	0.5	10,429.0	9.0	404.0	923.5
28	13,134.0	806.0	437.0	124.0	0.5	10,389.0	9.0	404.0	964.5
29	13,134.0	805.0	436.0	124.0	0.5	10,388.0	9.0	404.0	967.5
30	13,134.0	805.0	435.0	124.0	0.5	10,423.0	9.0	404.0	933.5
令和元年	13,134.0	804.0	435.0	125.0	0.5	10,435.0	9.0	404.0	921.5
2	13,134.0	800.0	435.0	125.0	0.5	10,428.0	9.0	404.0	932.5
3	13,134.0	815.0	449.0	125.0	0.5	10,426.0	9.0	403.0	906.5
4	13,134.0	814.0	449.0	125.0	0.5	10,429.0	9.0	321.0	986.5



令和 4 年

（資料:固定資産概要調書）

人口

■世帯数及び人口の推移

区分 年次	世帯数 （世帯）	人口（人）				人口密度（人） （1 ㎢）	備考
		総数	男	女	1 世帯当たり		
昭和 55 年	1,127	5,537	2,738	2,799	4.9	42	国勢調査
60	1,157	5,423	2,662	2,761	4.7	41	〃
平成 2 年	1,112	5,219	2,558	2,661	4.7	40	〃
7	1,107	4,957	2,437	2,520	4.5	38	〃
12	1,092	4,602	2,271	2,331	4.2	35	〃
17	1,108	4,452	2,182	2,270	4.0	34	〃
22	1,161	4,174	2,060	2,114	3.6	32	〃
令和 2 年	1,080	3,245	1,646	1,599	3.0	25	〃
3	1,001	2,964	1,492	1,472	3.0	23	現住人口調査
4	1,076	3,121	1,579	1,542	2.9	24	〃

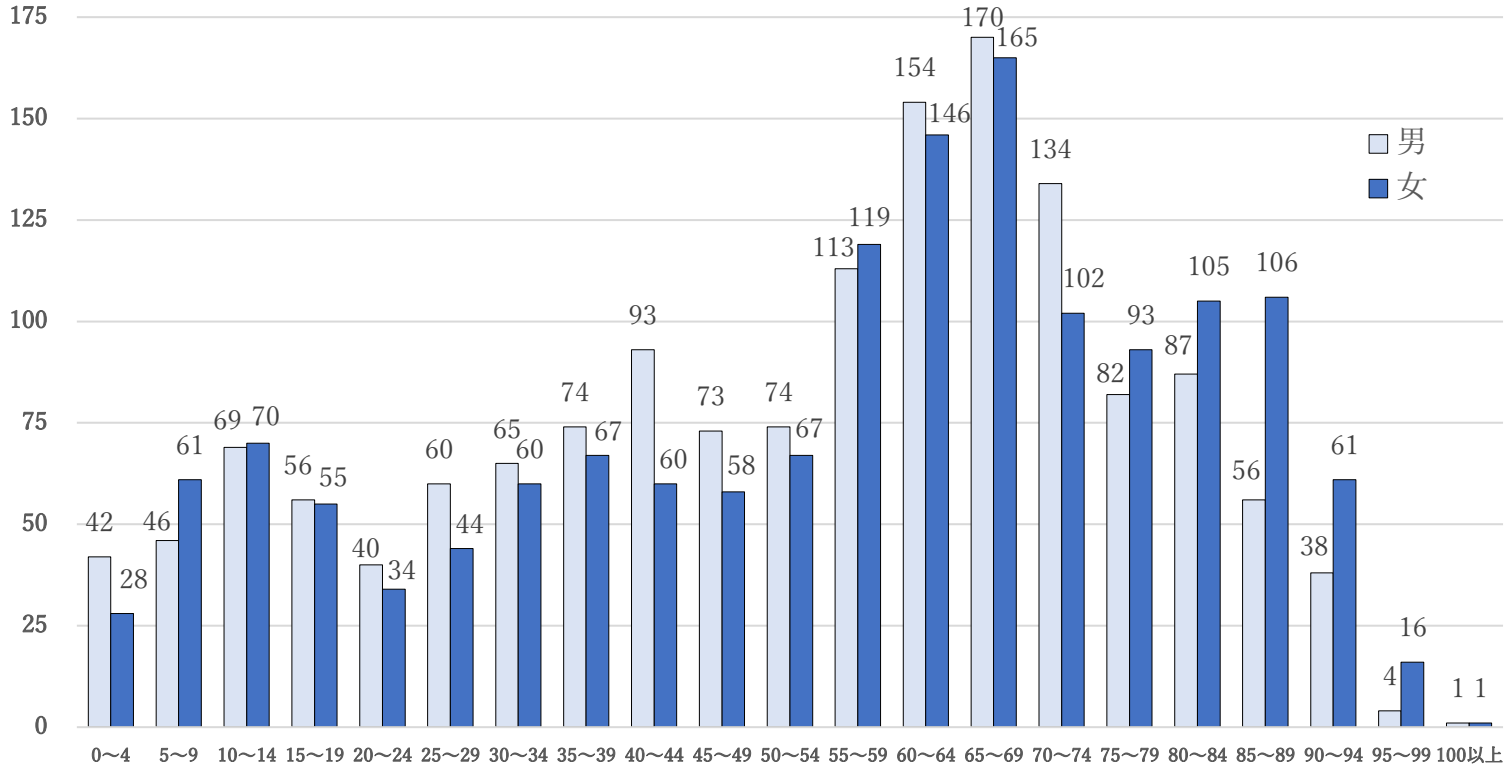
（資料:住民基本台帳）

■人口動態（単位:人）

区分 年次	自然増減			社会増減			増減
	出生	死亡	増減	転入	転出	増減	
昭和 55 年	91	57	34	161	321	△ 160	△ 126
60	69	52	17	160	199	△ 39	△ 22
平成 2 年	42	62	△ 20	150	183	△ 33	△ 53
7	45	46	△ 1	109	175	△ 66	△ 67
12	39	47	△ 8	101	147	△ 46	△ 54
17	25	47	△ 22	106	193	△ 87	△ 109
令和元年	14	61	△ 47	47	94	△ 47	△ 94
2	14	59	△ 45	32	81	△ 49	△ 94
3	9	65	△ 56	31	75	△ 44	△ 100
4	10	69	△ 59	37	65	△ 28	△ 87

（資料:住民基本台帳）

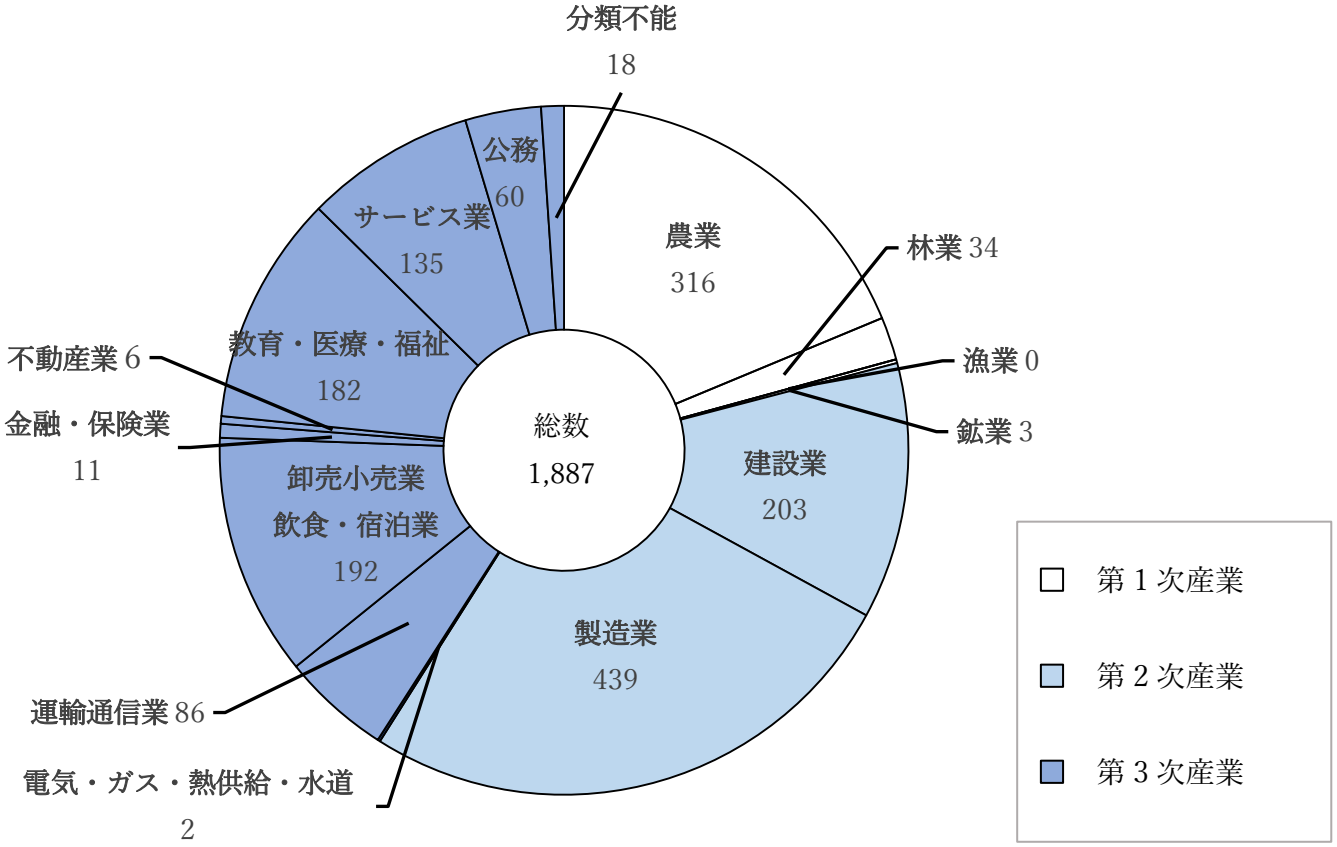
■年齢５歳別人口構成（単位:人）



（資料:令和２年国勢調査）

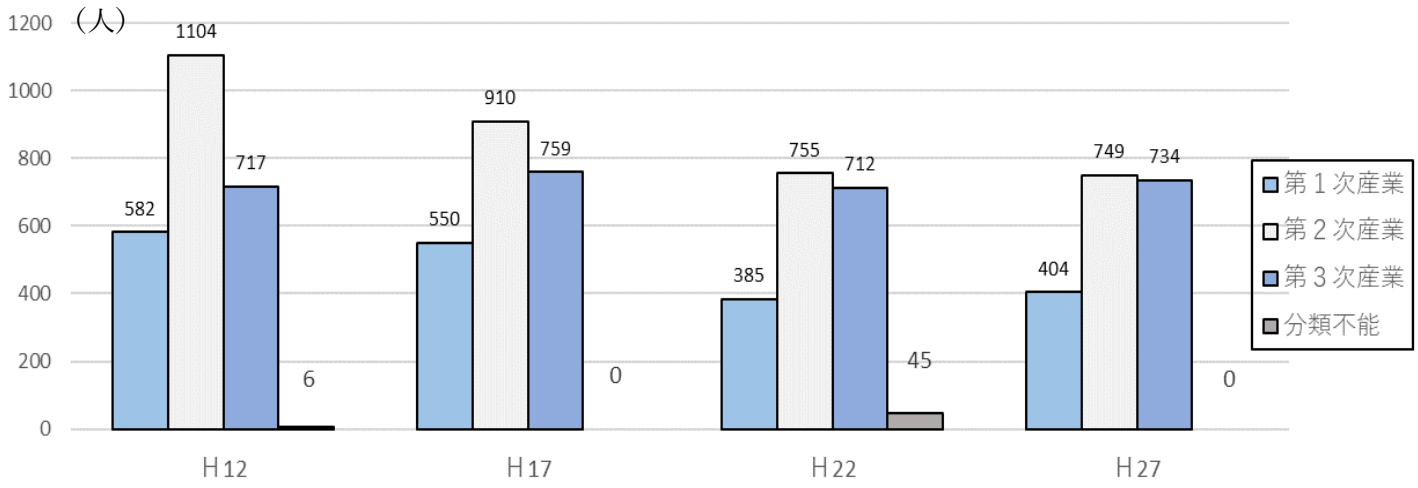
産業

■産業別就業人口の比率（単位:人）



（資料:令和２年国勢調査）

■産業別就業人口の推移



（資料:令和２年国勢調査）

■農家戸数

区分／年次	総戸数	農家戸数	農家率	専業農家		第１種兼業農家		第２種兼業農家	
				戸数	率	戸数	率	戸数	率
昭和 55 年	1,127　戸	872　戸	77.4　%	58　戸	6.7　%	401　戸	46.0　%	413　戸	47.3　%
60	1,157	843	72.9	62	7.4	217	25.7	564	66.9
平成２年	1,112	815	73.3	44	5.4	154	18.9	617	75.8
7	1,107	778	70.3	37	4.8	110	14.1	631	81.1
12	1,093	683	62.4	61	8.9	56	8.1	566	81.4
17	1,110	621	55.9	69	11	43	6.9	509	82.0
令和２年	1,006	352	35.0	39	11	72	20.5	241	68.5

（資料:農業センサス）

■経営規模別農家数（単位:戸）

区分／年次	農家数	経営耕地区分						
		0.5ha 未満	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～2.5	2.5～3.0	3.0ha 以上
昭和 55 年	872	101	215	259	175	63	26	33
60	843	107	211	241	153	63	33	35
平成２年	815	116	230	246	144	48	17	14
7	778	137	256	231	92	37	12	13
12	753	134	264	214	82	27	14	18
17	621	65	230	183	70	34	18	21
令和２年	357	44	116	85	47	30		21

（資料:農業センサス）

■経営耕地面積の状況（単位:ha）

区分 年次	総数	田	畑	樹園地
昭和 55 年	1,082	607	400	75
60	1,150	673	413	63
平成 2 年	1,126	702	364	60
7	964	660	292	12
12	837	593	242	2
17	805	592	211	2
令和 2 年	538	393	143	2

（資料:農業センサス）

■村の工業

区分 年次	事業所数	従業者数	製造品出荷額
平成 25 年	9　カ所	255　人	396,017　万円
26	9	259	416,482
28	10	217	317,917
29	9	245	418,793
30	8	233	392,572
令和元年	8	240	372,246
2	8	178	364,741

（資料:農業センサス）

■村の商業

区分 年次	商店数				従業者数	商品販売額
	総数	卸売	小売	飲食店		
平成 3 年	73　店	2　店	71　店	－　店	179　人	202,596　万円
6	68	1	67	－	173	194,718
9	61	1	60	－	154	193,836
19	51	3	48	－	127	93,169
28	34	－	32	2	95	65,238
令和 3 年	37	2	29	6	112	174,500

（資料:経済センサス）

教育

■学校別学級数と児童生徒数の推移（単位:学級、人）

年次	平成 30 年		令和元年		2		3		4	
区分 学校名	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数
鮫川小学校	8	170	8	153	8	148	8	138	8	127
鮫川中学校	5	94	5	79	4	72	4	81	5	80

（資料:学校基本調査）

■幼稚園・小・中学校の現況（単位:学級、人）　（令和５年５月１日現在）

園・学校名	学級数	園児・児童・生徒数			教員数	職員数	教員１人あたり園児・児童・生徒数
		男	女	計			
こどもセンター	4	31	20	51	6	4	8.5
鮫川小学校	8	50	59	109	12	1	9.1
鮫川中学校	5	33	44	77	12	1	6.4

（資料:学校基本調査）

■中学校卒業後の状況（単位:人、%）

区分／年次	卒業者数	進学者（就進含）	専修学校等入学者（就進含）	就職者	その他	進学率	就職率
平成16年	71	71	―	0	0	100.0	―
令和元年	34	33	1	0	0	97.1	―
2	19	19	―	0	0	100.0	―
3	26	25	―	0	1	96.1	―
4	27	26	―	0	1	96.2	―

（資料:学校基本調査）

■体育施設の利用状況（単位:人）

区分／年次	青少年広場			トレーニングセンター	トレーニングセンタープール		
	昼間	夜間	計		昼間	夜間	計
令和２年	1,343	1,218	2,561	10,923	3,392	119	3,511
3	993	233	1,090	9,976	2,402	117	2,579
4	2,968	760	3,728	12,903	3,090	193	3,283

（資料:農業者トレーニングセンター）

■公民館の利用状況（単位:件、人）

区分／年次		研修・講座	会議	相談指導会	各種団体活動	集会合展示会	計
令和３年	件数	25	59	16	209	13	322
	人数	584	667	87	2,162	575	4,033
4	件数	77	111	13	126	24	351
	人数	1,994	1,473	54	916	864	5,301

（資料:公民館）

■村指定文化財

指定番号	種別	名称	指定年月日	所在地	所有・占有者
1	無形民俗	渡瀬の獅子舞	昭 48.1.10	渡瀬字江竜田	渡瀬獅子舞保存会
2	史跡	渡瀬村救荒修祭記碑	昭 51.8.14	渡瀬字木之根 88 番地 2	渡瀬区
3		追分石	昭 51.8.14	西山字前折戸 73 番地 1	阿久津　孝夫
4		越惣太郎就縛の地	昭 51.8.14	富田字反田 263 番地 1	大平　太平
13		赤坂舘	令 4.12.21	赤坂中野字巡ヶ作	鮫川村ほか
5	有形	木造揚柳観音菩薩坐像	昭 54.3.29	赤坂西野字大塩	大塩農事組合
6		切石観世音	昭 54.3.29	赤坂西野字上 93 番地	切石観世音世話人
9		折戸阿弥陀三尊像	昭 60.6.20	西山字折戸 172 番地	折戸部落
10		富田薬師堂	昭 60.6.20	富田字彦次郎 210 番地	東光寺総代
11		赤坂家長屋門	昭 60.6.20	渡瀬字木之根 60 番地	赤坂　博男
12		熊野神社飛翔獅子型狛犬	令 4.12.21	赤坂西野字名下	熊野神社
14	天然記念物	強滝甌穴（おうけつ）群	令 4.12.21	西山字強滝	福島県

（資料:教育課）

■福祉施設

施設名	設置（年月）	敷地面積（㎡）	職員数	利用の状況	
				定員	利用者数
こどもセンター	平 17.4	11,861	19 人	40 人 90 人	保育部:0 歳児 6 人、1 歳児 12 人、2 歳児 12 人 幼稚部:3 歳児 13 人、4 歳児 24 人、5 歳児 8 人 （R4 年度）
保健センター	平 15.4	2,790	―	―	保健関係/延べ 1,852 人、福祉関係/延べ 359 人、その他/延べ 156 人、コロナウイルス予防接種/延べ 5,702 人　（R3 年度）
村民保養施設 さぎり荘	昭 58.4	3,641	2 人	―	延べ 25,240 人　（R3 年度）
高齢者 総合福祉センター ひだまり荘	平 8.4	5,041	13 人	通所 30 人 短期 7 人	①居宅介護支援事業:要介護認定調査 29 件、在宅介護支援 786 件②訪問介護（365 日）1,897 人③通所介護（245 日）3,259 人④短期入所生活介護相当サービス 1,051 人⑤介護予防支援事業:介護予防支援・総合支援事業 620 件、筋力づくり教室支援 91 名、要介護認定調査 40 件⑥訪問介護相当サービス（365 日）164 人⑦通所介護相当サービス（243 日）1,995 人⑧介護予防短期入所生活介護相当サービス 80 人

（資料:こどもセンター、住民福祉課）

福祉・保健・衛生

■基礎年金・国民年金受給者数及び年金額（単位:件、円）

区分 / 年次	老齢給付		障害給付		遺族給付		計	
	件数	年金額	件数	年金額	件数	年金額	件数	年金額
平成 30 年	1,218	779,442,523	94	80,580,625	5	4,014,400	1,317	864,037,548
令和元年	1,219	792,575,898	89	76,538,225	4	2,650,566	1,312	871,764,689
2	1,226	806,799,431	89	75,854,375	3	2,206,021	1,318	884,859,827
3	1,234	818,631,743	89	75,972,000	3	2,203,793	1,326	896,807,536
4	1,213	809,842,103	84	71,586,950	1	415,637	1,298	881,844,690

区分 / 年次	死亡一時金		特別一時金	
	件数	年金額	件数	年金額
平成 30 年	1	120,000	―	―
令和元年	―	―	―	―
2	―	―	―	―
3	―	―	―	―
4	1	145,000	―	―

（資料:住民福祉課）

■国民健康保険の状況（単位:人、円、%）

区分 / 年次	被保険者数	世帯数	医療費総額（費用額）				
			一般	退職	未就学児	高齢者	計
平成 30 年	879	496	221,591,811	1,417,180	4,850,130	52,431,938	280,291,059
令和元年	825	478	216,543,171	206,090	1,852,840	72,056,230	290,658,331
2	804	467	189,237,758	―	1,787,210	94,274,909	285,299,877
3	789	458	208,818,660	―	2,643,640	101,214,735	312,677,035
4	776	461	190,615,918	―	2,506,240	95,452,808	288,574,966

区分 / 年次	1 人あたり費用額	対前年度伸率	1 世帯あたり費用額	対前年度伸率
平成 30 年	318,875	44.00	409,616	2.46
令和元年	352,313	10.49	438,507	7.05
2	354,313	0.57	445,870	1.68
3	396,295	11.85	503,329	12.89
4	371,875	-6.16	625,976	24.37

※1 人あたり・1 世帯あたりの費用額は、各年度の平均被保険者数・世帯数により算出

（資料:住民福祉課）

■国民健康保険税の状況（単位:円）

区分 年次	医療給付費分			後期支援金分		
	保険税 課税賦課額	1 人あたり 保険税額	1 世帯あたり 保険税額	保険税 課税賦課額	1 人あたり 保険税額	1 世帯あたり 保険税額
平成 30 年	49,902,500	58,281	101,784	22,145,600	25,860	45,163
令和元年	54,486,000	67,066	115,133	19,430,200	23,913	41,053
2	53,125,800	67,078	115,742	18,838,500	23,786	41,042
3	51,075,000	65,230	112,007	18,176,100	23,213	39,860
4	49,371,700	66,005	108,271	18,123,900	24,230	39,745

区分 年次	介護給付費分		
	保険税 課税賦課額	1 人あたり 保険税額	1 世帯あたり 保険税額
平成 30 年	9,379,800	29,959	36,828
令和元年	8,028,200	28,125	34,109
2	7,739,600	36,681	30,591
3	7,191,000	31,678	37,847
4	6,760,000	30,588	35,957

※1 人あたり・1 世帯あたりの費用額は、
各年度の平均被保険者数・世帯数により算出
（資料:総務課）

■介護保険の状況（単位:人、円、%）

区分 年次	被保険者数 （2 号被保含む）	認定者数							
		要支援 1	要支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
平成 30 年	1,488	18	21	36	34	40	42	27	218
令和元年	1,493	16	29	29	36	47	35	27	219
2	1,517	19	30	31	45	45	36	22	228
3	1,506	10	30	26	36	43	40	29	214
4	1,491	11	30	29	39	42	45	23	219

区分 年次	介護給付費	対前年比	被保険者 1 人 あたり給付額	認定者 1 人 あたり給付額
平成 30 年	420,624,867	97.3	331,201	1,929,472
令和元年	437,804,108	104.1	343,645	1,999,106
2	435,592,972	99.5	337,931	1,910,495
3	414,419,051	95.1	320,758	1,936,538
4	408,102,879	98.5	320,836	1,863,483

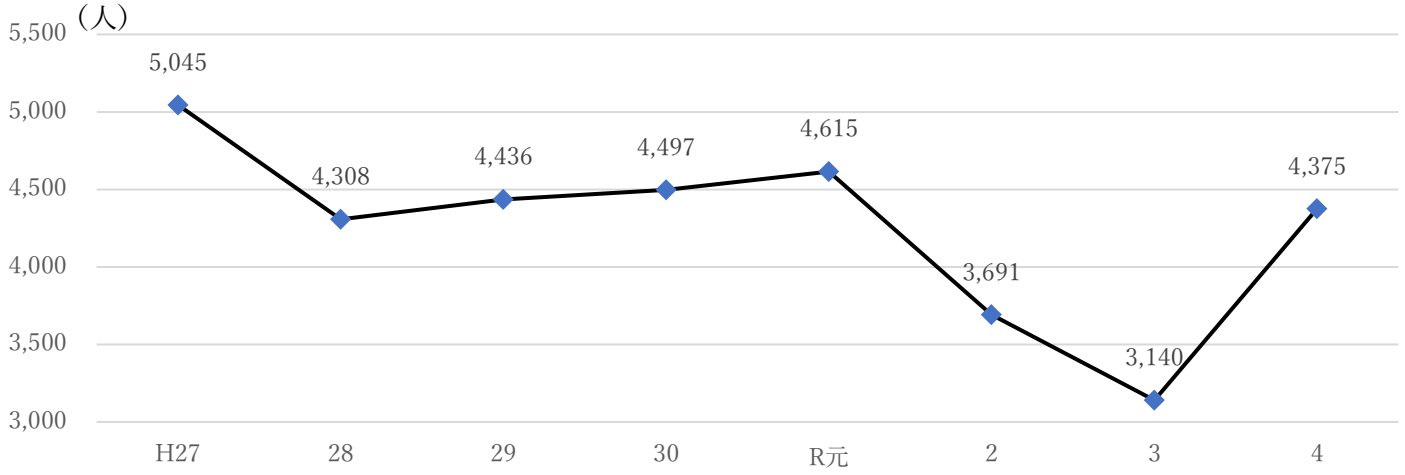
（資料:住民福祉課）

■介護保険料の状況（単位:円）

区分 年度	保険料課税賦課額		保険料 （基準額）	備考 （国による特別措置）
	特別徴収	普通徴収		
平成 30 年	71,428,840	5,975,160	64,800	
令和元年	71,933,400	6,419,420	64,800	
2	72,178,620	6,380,260	64,800	
3	74,987,620	8,182,620	68,400	
4	77,494,040	6,061,180	68,400	

（資料:総務課）

■鮫川村国民健康保険診療所の利用状況



（資料:国民健康保険診療所）

生活環境

■村道の状況　（令和 5 年 4 月 1 日現在）

階級	路線数	総延長	実延長	改良済延長	改良率	舗装済延長	舗装率
1 級	10　か所	32,776　m	32,635　m	32,074　m	98　%	32,265　m	98.8　%
2 級	14	35,366	35,316	33,614	95	32,316	100.0
その他	118	102,667	101,745	78,847	77	79,000	77.6
計	142	170,809	169,696	144,534	85	146,581	86.3

（資料:地域整備課）

■国・県道の状況　（令和 4 年 4 月 1 日現在）

路線名		実延長	改良済延長	改良率	舗装済延長	舗装率
国道	国道 289 号線	19,958　m	19,958　m	100.0　%	19,958　m	100.0　%
	国道 349 号線	19,146	13,519	70.6	13,519	100.0
	小計	39,104	33,477	85.6	33,477	100.0
県道	棚倉鮫川線	6,613	6,613	100.0	6,613	100.0
	勿来浅川線	13,073	9,042	69.2	9,042	100.0
	赤坂東野塙線	7,001	5,391	77.0	5,391	100.0
	赤坂西野石川線	4,403	2,537	57.6	2,537	100.0
	明内田中線	2,700	1,222	45.3	1,222	100.0
	小計	33,790	24,805	73.4	24,805	100.0
合計		72,894	58,282	80.0	58,282	100.0

（資料:地域整備課）

■村営住宅の状況　（令和 5 年 3 月 31 日現在）

名称	位置	戸数
広畑団地	大字赤坂東野字広畑 197 番地	13　戸
前田団地	大字赤坂中野字東前田 24 番地 2	12
見渡団地	大字赤坂西野字茅 353 番地	12
渡瀬団地	大字渡瀬字木之根 101 番地	13
宿ノ入団地	大字赤坂中野字宿ノ入 74 番地 1	11
計		61

（資料:地域整備課）

■定住促進住宅の状況　（令和 5 年 3 月 31 日現在）

名称	位置	戸数
酒垂住宅	大字赤坂西野字酒垂 2 番地 1	2　戸
〃	大字赤坂西野字酒垂 3 番地 3	1
茅住宅	大字赤坂西野字茅 135 番地	1
猿子住宅	大字赤坂西野字見渡 147 番地	1
水口住宅	大字西山字水口 103 番地	7
〃	大字西山字水口 83 番地 2	3
巡ヶ作住宅	大字赤坂中野字巡ヶ作 119 番地	1
伏木田住宅	大字赤坂中野字伏木田 20 番地	4
道少田住宅	大字赤坂中野字道少田 4 番地 3	1
新宿住宅	大字赤坂中野字新宿 79 番地 3	1
見渡住宅	大字赤坂西野字見渡 151 番地 1	1
宿ノ入住宅	大字赤坂中野字宿ノ入 52 番地 1	1
計		24

（資料:地域整備課）

■簡易水道の概況

区分 年次	給水人口	給水戸数	年間給水量	1 日平均給水量
平成 30 年	1,712　人	603　戸	174,201　㎥	477.3　㎥
令和元年	1,635	613	172,242	471.9
2	1,598	613	169,787	465.2
3	1,573	617	165,913	454.6
4	1,529	621	165,179	452.5

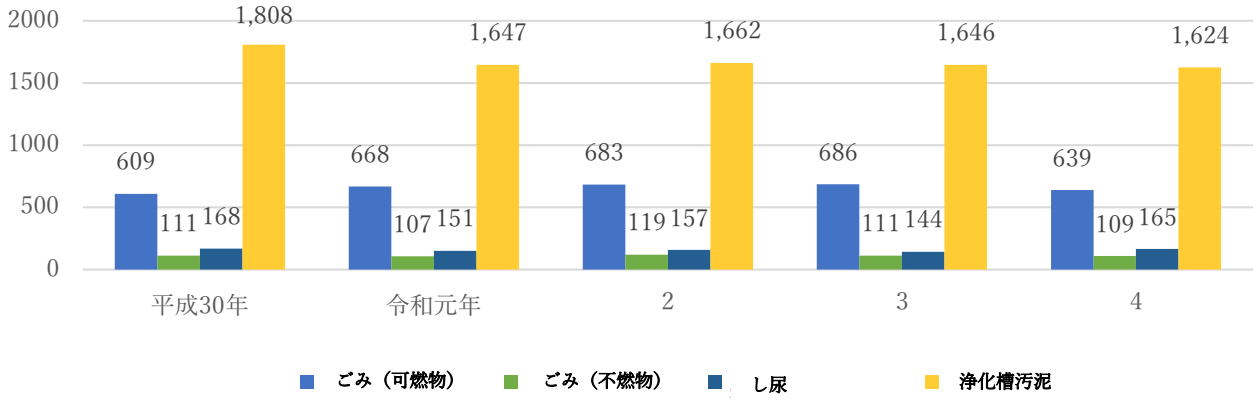
（資料:地域整備課）

■集落排水の概況

区分 年次	施設接続人口	施設接続戸数
平成 30 年	1,289　人	208　戸
令和元年	1,273	208
2	1,221	208
3	1,207	212
4	1,207	211

（資料:地域整備課）

■ごみ・し尿の処理状況（単位:トン、kl）



（資料:地域整備課）

運輸･通信

■定期バスの運行状況

区分	路線	運行回数（1 日）
村営バス	棚倉～鮫川	2
福島交通（株）	石川～宝木～湯の田温泉	3
	塙～青少年広場	3

（資料:村づくり推進室）

防災

■消防団現有勢力　（令和 4 年 12 月 31 日現在）

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	訓練部長	班長	副班長	団員	機能別消防団	計
本団	1	2	2	―	―	―	―	―	25	30
第 1 分団第 1 部	―	―	―	1	1	2	2	19	―	25
第 1 分団第 5 部	―	―	1	―	1	3	2	35	―	42
第 2 分団第 2 部	―	―	―	1	1	2	3	30	―	37
第 2 分団第 3 部	―	―	1	―	1	2	2	26	―	32
第 3 分団第 4 部	―	―	―	1	1	1	1	13	―	17
第 3 分団第 6 部	―	―	―	1	1	1	1	7	―	11
第 3 分団第 7 部	―	―	1	―	1	1	1	13	―	17
総数	1	2	5	4	7	12	12	143	25	211

（資料:総務課）

■消防施設の概況

消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ	携帯用消防無線 携帯用防災無線	消火栓	防火水そう
2 台	19 台	19 台	68 台	115 基	92 基

（資料:総務課）

■常備消防の概況

署員	建物	消防自動車	救急車	広報連絡車	無線機	ジェットシューター
9 人	鉄筋コンクリート 1 階建　276 ㎡	1 台	1 台	1 台	2 台	3 台

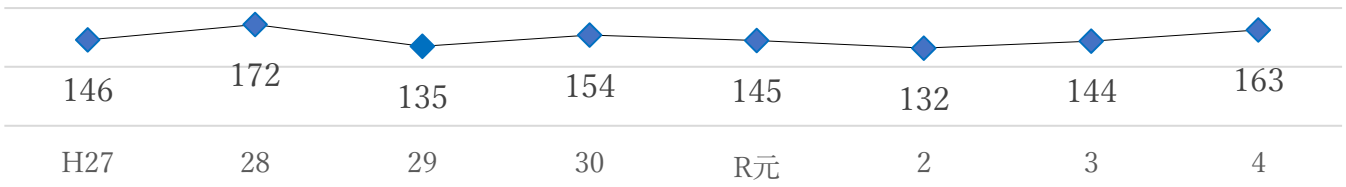
（資料:総務課）

■交通事故発生状況　（各年 12 月 31 日現在）

年次	平成 30 年	令和元年	2	3	4
発生件数	50	48	24	45	53
死者数	1	0	1	0	0
負傷者数	2	3	2	2	3

（資料:総務課）

■救急出動状況（単位:件）　（各年 12 月 31 日現在）



（資料:総務課）

■火災発生状況　（各年 12 月 31 日現在）

年次	原因別件数			
	建物	林野	その他	計
平成 30 年	2	—	1	3
令和元年	—	—	—	—
2	1	—	—	1
3	2	—	—	2
4	—	—	—	—

（資料:総務課）

財政

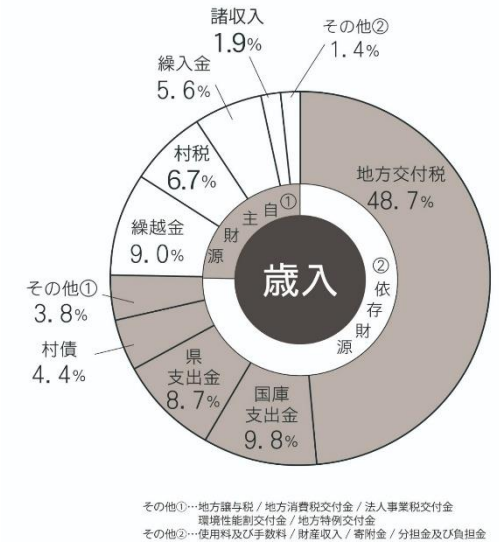
■年度会計別決算額の推移（単位:万円）

区分 / 年度	一般会計	特別会計				
		国民健康保険（事業勘定）	国民健康保険（直診勘定）	簡易水道事業	村営バス事業	集落排水事業
平成 27 年	3,770,936	579,729	66,246	120,356	9,800	33,108
28	3,553,862	589,120	67,509	154,335	11,634	35,095
29	3,618,502	534,026	64,751	123,618	12,332	35,070
30	3,454,273	429,642	64,113	109,803	12,619	40,055
令和元年	3,719,972	404,525	69,634	138,856	12,352	36,649
2	4,819,771	397,930	71,894	142,312	11,002	34,222
3	3,978,672	412,784	59,817	157,975	11,134	36,087

区分 / 年度	特別会計		
	介護保険	交流施設	学校給食センター
平成 27 年	437,405	12,239	102,074
28	435,441	15,536	103,072
29	488,190	17,414	94,957
30	484,577	21,429	99,979
令和元年	496,117	17,061	95,158
2	492,187	14,522	102,983
3	523,193	—	95,652

（資料:総務課）

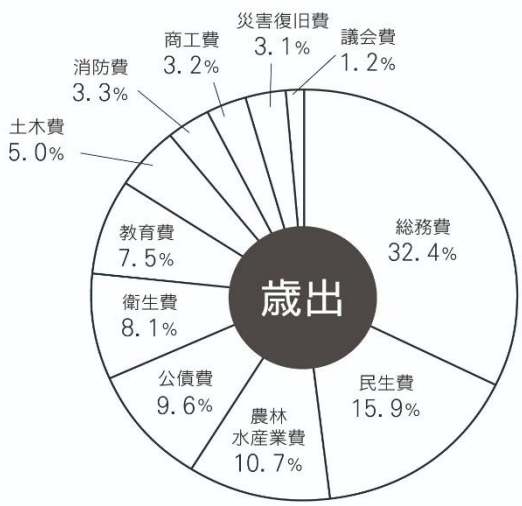
■一般会計歳入・歳出決算額（令和 3 年度決算額）



歳入総額

39 億 7867 万 1658 円

①自主財源		②依存財源	
村税	2 億 6878 万円	地方交付税	19 億 3818 万 6 千円
繰入金	2 億 2349 万 4 千円	国庫支出金	3 億 8791 万 5 千円
繰越金	3 億 6025 万 6 千円	県支出金	3 億 4685 万 4 千円
諸収入	7425 万 2 千円	村債	1 億 7620 万円
使用料及び手数料	2649 万 6 千円	地方譲与税	5761 万 9 千円
分担金及び負担金	234 万 7 千円	地方消費税交付金	7783 万 6 千円
財産収入	1491 万円	法人事業税交付金	355 万 2 千円
寄付金	939 万 6 千円	環境性能割交付金	272 万円
		地方特例交付金	456 万 4 千円
		利子割交付金	18 万円
		配当割交付金	125 万円
		株式譲渡所得割交付金	131 万 8 千円
		交通安全対策特別交付金	54 万 6 千円
		自動車取得税交付金	—



総務費	12 億 1359 万 7 千円
民生費	5 億 9562 万 5 千円
農林水産業費	4 億 29 万 1 千円
公債費	3 億 5879 万 7 千円
衛生費	3 億 387 万 1 千円
教育費	2 億 8174 万 6 千円
土木費	1 億 8640 万 8 千円
消防費	1 億 2565 万 9 千円
商工費	1 億 2046 万 3 千円
災害復旧費	1 億 1595 万円
議会費	4558 万 9 千円

歳出総額

37 億 4910 万 6055 円

■村税の内訳

○課税賦課額（単位:千円）

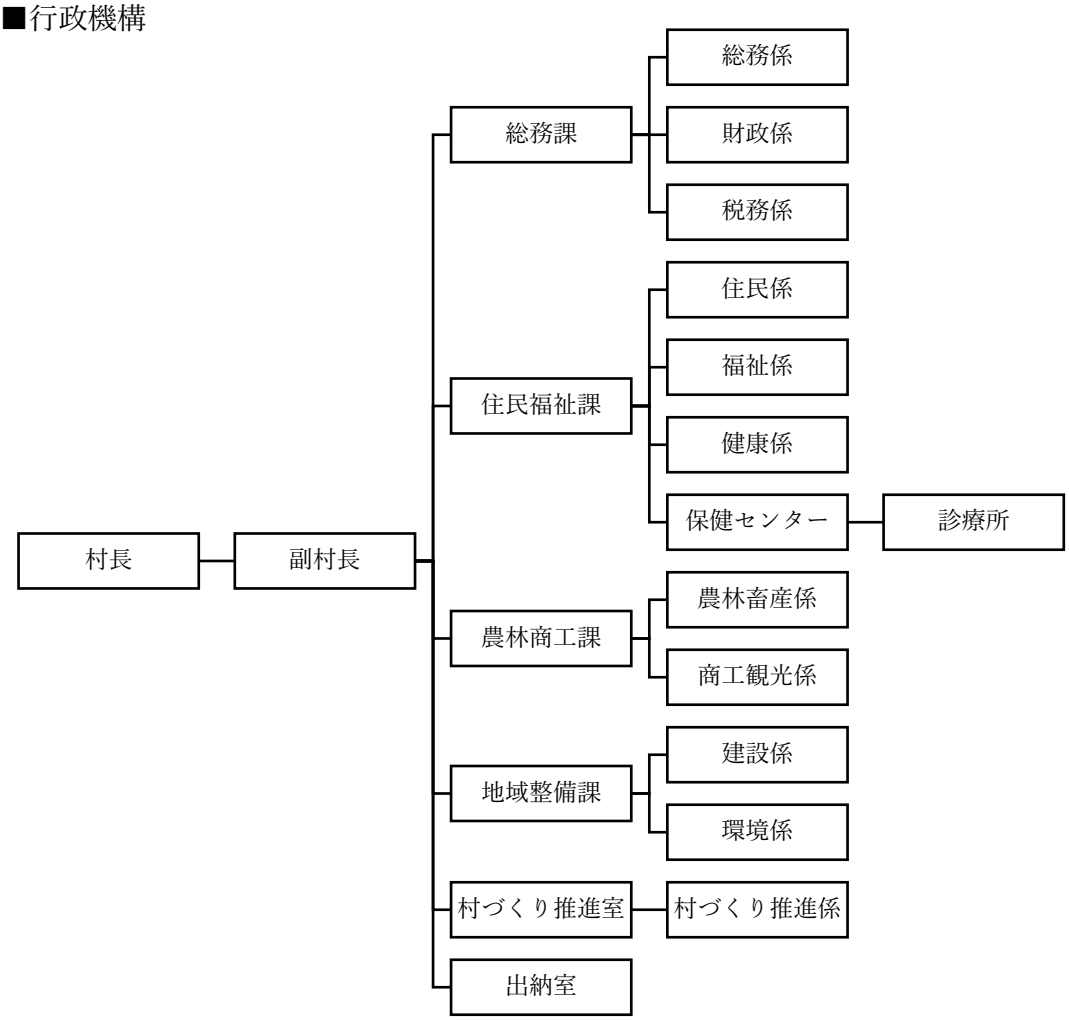
区分＼年度	平成 30 年	令和元年	2	3	4
課税賦課額	284,786	278,699	275,742	271,192	275,575
村民税総額	128,683	121,714	119,312	118,615	119,104
個人	113,665	108,837	106,473	108,264	106,643
法人	15,018	12,877	12,839	10,351	12,461
固定資産税	137,728	138,263	137,149	133,434	136,655
軽自動車税	13,960	14,316	15,040	14,971	15,545
村たばこ税	4,415	4,406	4,241	4,103	4,171
入湯税	―	―	―	69	100

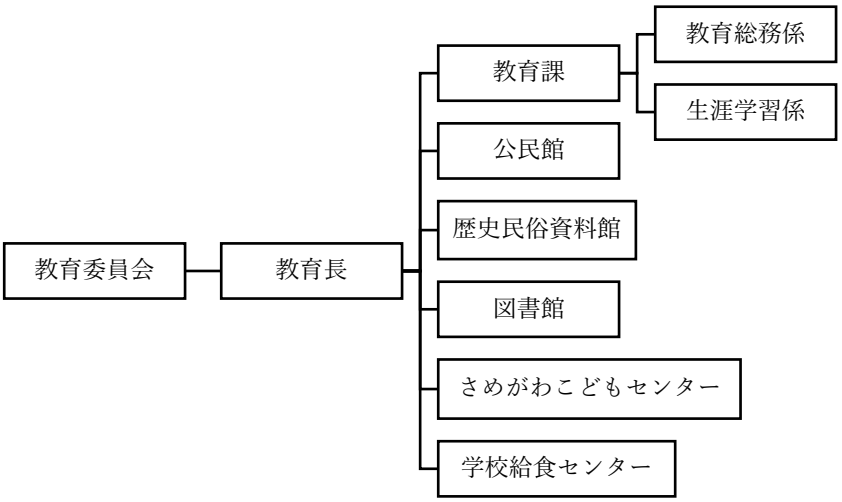
○決算額（単位:千円）

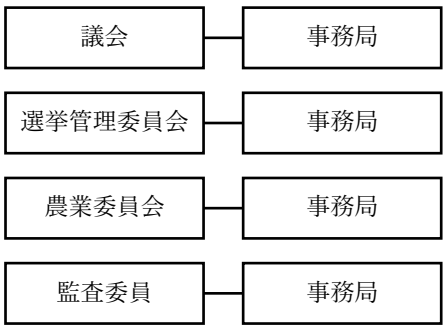
区分＼年度	平成 30 年	令和元年	2	3
決算額	284,030	277,408	274,337	268,780
村民税総額	128,100	120,734	118,200	116,677
固定資産税	137,603	138,036	136,908	133,037
軽自動車税	13,912	14,232	14,988	14,894
村たばこ税	4,415	4,406	4,241	4,103
入湯税	―	―	―	69

（資料:総務課）

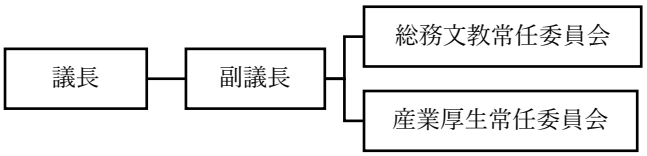
■行政機構


村長
副村長
総務課
総務係
財政係
税務係
住民福祉課
住民係
福祉係
健康係
保健センター
診療所
農林商工課
農林畜産係
商工観光係
地域整備課
建設係
環境係
村づくり推進室
村づくり推進係
出納室


教育委員会
教育長
教育課
教育総務係
生涯学習係
公民館
歴史民俗資料館
図書館
さめがわこどもセンター
学校給食センター


議会
事務局
選挙管理委員会
事務局
農業委員会
事務局
監査委員
事務局

■議会機構


議長
副議長
総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会

■関係施設等一覧

名称	所在地	電話番号
鮫川村役場		
総務課	大字赤坂中野字新宿 39 番地 5	49-3111　（代表）
選挙管理委員会		49-3111
出納室		49-3116
住民福祉課		49-3112
農林商工課		49-3113
農業委員会		49-3113
村づくり推進室		57-6332
地域整備課		49-3114
議会事務局		49-3115
鮫川村公民館		
教育委員会教育課	大字赤坂中野字巡ヶ作 128 番地	49-3151　（代表）
村出先機関・関連施設等		
保健センター	大字赤坂中野字新宿 189 番地 1	29-1231
国民健康保険診療所		49-2028
高齢者総合福祉センター　ひだまり荘	大字赤坂中野字宿ノ入 35 番地	49-3600　（代表）
地域包括支援センター（ひだまり荘内）		29-1233
村民保養施設　さぎり荘	大字赤坂東野字広畑 199 番地 2	49-2205
農産物加工・直売所　「手・まめ・館」	大字赤坂中野字巡ヶ作 116 番地	49-2556
豊かな土づくりセンターゆうきの郷土（さと）	大字富田字八斗蒔 76 番地 2	49-3474
鹿角平観光牧場（売店）	大字青生野字世々麦 343 番地	48-2010
鮫川小学校	大字赤坂中野字道少田 86 番地	49-2005
鮫川中学校	大字赤坂中野字巡ヶ作 130 番地 4	49-3101
農業者トレーニングセンター	大字赤坂中野字宿ノ入 64 番地	49-3295
図書館	大字赤坂中野字新宿 64 番地 2	29-1150
歴史民俗資料館	大字赤坂中野字巡ヶ作 126 番地 1	49-3106
学校給食センター	大字赤坂中野字宿ノ入 34 番地	49-2113
さめがわこどもセンター	大字赤坂西野字酒垂 3 番地 3	29-1010
防災無線の放送内容聞き直し		49-2711
災害時対応電話		49-3302
		49-3303

村内の主な施設		
鮫川村商工会	大字赤坂中野字新宿 38 番地	49-2171
東西しらかわ農業協同組合鮫川支店	大字赤坂中野字新宿 83 番地	49-3131
鮫川郵便局	大字赤坂中野字道少田 59 番地	49-2160
棚倉警察署鮫川駐在所	大字赤坂中野字宿ノ入 11 番地 1	49-2110
棚倉消防署鮫川分署	大字赤坂中野字道少田 13 番地 1	49-2119
村民の店　すまいる	大字赤坂中野字新宿 64 番地 1	57-6901
鮫川たんぽぽの家	大字赤坂西野字岡田 59 番地 1	49-2022
特別養護老人ホームさめがわ	大字西山字水口 31 番地	29-1711
グループホームさめがわ		29-1713
赤坂西野区民センター	大字赤坂西野字頭割 62 番地 1	49-3395
西山区集落センター	大字西山字水口向 2 番地 1	49-2385
赤坂中野区集落センター	大字赤坂中野字道少田 94 番地	49-2383
東石区集落センター	大字赤坂東野字広畑 4 番地 2	49-2381
富田区集落センター	大字富田字彦次郎 318 番地	49-2867
渡瀬区集落センター	大字渡瀬字中山 230 番地 1	48-2253
青生野集落センター	大字青生野字大犬平 39 番地	48-2252

■村のあゆみ

明治２２年　４月	●郡区町村編成法により、従来の７か村を合併し,「鮫川村」と改称
	大日本帝国憲法発布・町村制施行（福島県内 413 町村）
	●村役場を赤坂中野字新宿 34 番地に開設（鈴木英之助宅）
８月	●初代村長に鈴木源之助就任（名誉職）
２４年　６月	●大字ごとに区長および区長代理者各１名を置く（任期２年）
２６年　２月	●村長に福原就秀就任（有給）
３０年　３月	●村長に真野隆春就任（有給）
３１年　７月	●役場を赤坂中野字新宿 66 番地に移転（小松浅吉宅）
９月	●村長に水野久馬右衛門就任（名誉職）
３５年　５月	●冷害
	国勢調査を 10 年ごとに行うことを公布
９月	●村長に蛭田栄之助就任（名誉職）
３６年	●冷害
	●鮫川村罹災窮民一時救助規定制定
	●生活困窮者に食糧を供給する
	小学校令を決め、教科書を国定とする
３９年　９月	●村長に須藤千代之助就任（名誉職）
１２月	●冷害
	●救荒予備条例制定（1 戸当り玄米２升を積立てし、凶作備蓄食糧にする）
４１年　４月	●戸草・松崎千代馬宅に家庭教育所を設置し、青年の夜学会にも使用
	●国から種牡馬を借り、優良馬の育成を図るため、鮫川種馬所を誘致。日露戦争のため、軍用馬の生産が盛んになる
４２年　５月	●杉種無償配布規定により造林を奨励
４３年　４月	●煙草耕作補助規定により葉たばこの生産を奨励
４３年　４月	**明治天皇崩御、「明治」から「大正」へ（7 月 30 日）**
大正　２年	●冷害
	●農業実行組合が設立
３年１０月	●鮫川村公会堂建築
３年１０月	**第１次世界大戦勃発**
６年	●鮫川村青年団結成
８年	●繭、こんにゃくの価格高騰、畜産・林産収入も増加し、農家経済は好況
９年　９月	**第１回国勢調査**
１０年　９月	●初めて村に電燈が点灯
１２年	**関東大震災**
１４年	●養蚕が盛んになり、繭の生産額が米を上回る
	●経済更生計画「産業方針」を策定
１５年　４月	●鮫川～石川に初めて自動車が運行される（定員５人・フォード）
	大正天皇崩御、「大正」から「昭和」へ（12 月 25 日）
昭和　２年	●生活改善要目実行を策定
１２月	●村長に芳賀金之助就任（名誉職）
３年	●冷害
	●地租免租、種穀料の給付、窮民救済土木事業の実施
５年	●農業恐慌（各種農産物の価格が暴落）
６年	●冷害
	満州事変勃発
８年	●経済更生村の指定を受ける
	●経済更生計画を定め、経済立て直し運動を全村的に展開する
	東北地区大凶作
９年	●冷害
	●政府から米の支給
	●恩賜郷倉や共同作業場を建築
	●救農土木事業を施行
１月	●村長に本郷留蔵就任（名誉職）
１０年	●冷害
	●政府から米の支給
１０年	●経済更生計画の実施成果が顕著、農林大臣表彰。全国の模範９町村に選定される
１０月	●手引ガソリンポンプ１台が初めて購入
	●村に初めての電話が役場に設置
１１年	●経済更生特別助成村の指定

１１年		●暗渠排水事業、木炭倉庫建築、めん羊の導入
１２年	１月	●村長に松本邦顕就任（名誉職）
１４年		●米穀搗精制限法公布（白米が禁止され、七分搗きが奨励される
		第２次世界大戦勃発
１５年		●政府が米穀の強制出荷命令を発動（米の供出割当始まる）
		●米、塩その他生活必需品に切符制実施（週に１回の「節米日」が決められる）
１６年		●冷害
	１２月	**太平洋戦争勃発（12 月 8 日）**
１７年		●食糧管理法公布（米、大麦、小麦は政府が買い入れ、消費者に配給）
	１月	●村長に斉藤市之助就任（名誉職）
１９年		●空地利用の食糧生産要綱が発令され、校庭、路肩などに作物を栽培
		●松根油緊急増産対策発表される
２０年		●第１次農地改革（地主の小作地所有制限を設ける）
		●冷害（戦争により農業労力不足、肥料欠乏、農薬不足により全国的に大凶作）
		●主食配給を減量（１日１人２合１勺となる）
	８月	**広島・長崎に原爆投下（8 月 6 日・9 日）**
		降伏調印・太平洋戦争終結（8 月 15 日）
２１年		●第２次農地改革（自作農創設５カ年計画を発表）
		新円切り替え／新憲法発布
２２年		●教育基本法、学校教育法が施行（6・3・3 制実施）
		●農業協同組合法公布
２２年		**新憲法施行**
	４月	●村長および村議会議員選挙（村長に阿久津辰弥当選／村議会議員に大池康義ほか 21 名当選）
	９月	●警防団を消防団と改称（団長佐藤晃）
２３年	４月	●県立塙高等学校鮫川分校発足（分校長石田卯子八）
		●鮫川村農業協同組合設立
２４年	４月	●鮫川村国民健康保険条例制定／鮫川村国民健康保険直営診療所開設
	５月	●壇ノ岡遺跡の第１次調査行われる
	８月	●大字渡瀬区より青生野を分かち１区とし、村内７区となる
２５年	２月	●農業センサス：農家数 897 戸
	４月	●地方税法の改正に伴い、村内納税組合 140、組合員 1184 名で組織
		●保温折衷苗代村内に普及
	１０月	●国勢調査：人口 8077 人、世帯数 1180 戸
	１１月	●鮫川村公会堂を改修し、鮫川村公民館に改称
２６年	３月	●農地委員会と食糧調整委員会を合同し、農業委員会となる
	４月	●村長および村議会議員選挙（村長に吉田義美当選［無投票］／村議会議員に中川西俊一ほか 21 名当選）
	８月	●壇ノ岡遺跡の第２次調査行われる
	９月	**日米安全保障条例調印**
２７年	４月	●赤坂西野区内字大塩、字官沢、字前田を赤坂中野区に編入
	７月	●住民登録全国一斉実施
	１０月	●教育委員会制度発足（鮫川村教育委員会発足）
２８年	１月	●「西山のイチイ」県指定天然記念物
	９月	**町村合併促進法制定**
	１１月	●鮫川村役場庁舎新築
	１２月	●赤坂中野字新宿 42 番地に県立塙高等学校鮫川分校校舎新築
２９年	１１月	●家畜管理所新築
３０年	２月	●農業センサス：農家数 938 万
	４月	●村長、村議会議員および教育委員会選挙（村長に石田卯子八当選／村議会議員に山形武ほか 21 名当選）
	５月	●鮫川村監査委員設置条例制定（条例による監査委員制度を設置、例月出納検査を執行）
	７月	●米の予約売渡制度実施される

３０年　８月	●無医村となったので村医制を復活。我妻辰彦を村医に委嘱し、鮫川診療所を開設する
９月	●国有林野内開拓適地共同調査（59 町歩）
１０月	●国勢調査：人口 8256 人、戸数 1210 戸
１１月	●農村振興総合助成施設事業を計画・実施
３１年　４月	●冷害による特別失業対策事業実施
６月	●鮫川診療所を県厚生連に委託運営（医師有賀政徳、ほか看護師 1 名、事務員 1 名）
７月	●消防ポンプ自動車購入 1 台（第 1 分団に配置）
	●新生活運動、花嫁衣裳貸出
８月	●歴代村長の碑を建立
９月	●物故村政功労者追悼会
	●第 1 回戦没者慰霊祭を執行
	●国有林野内農地所属替適地共同調査実施（106.5 町歩）
１１月	●新農村建設事業農林漁業予備計画地域に指定
	●役場隣に消防ポンプ自動車車庫建築
３２年１０月	●高冷地営農改善対策事業により、乳牛 5 頭、和牛 13 頭導入
１１月	●青生野区に消防団第 7 分団を設置
３３年　３月	●青年研修所建築
	●昭和 32 年度全納税 100％完納とな
６月	●学校部分林設定、杉の植林を実施（西野小学校・西山小学校）
	●天狗橋村有林に杉造林 3 ㌶
１１月	●高冷地営農対策事業実施
	メートル法実施
３４年　１月	●鮫川村国民健康保険事業を再開
２月	●鮫川村国民健康保険診療所開始
	●鮫川村村議会議員定数減少条例制定（22 名を 18 名とする）
３月	●電気導入、葉貫地区 21 戸に点灯
４月	●村長および村議会選挙（村長に石田卯子八再選［無投票］／村議会議員に中川西金之助ほか 17 名当選）
	国民年金法成立

３５年　２月	●世界農林業センサス実施(農家数 982 戸)
３月	●有畜農家創設資金により乳牛 25 頭導入
	●鹿角平外草地改良事業実施
	●無電灯解消事業実施（姿平地区）
１０月	●国勢調査：人口 7962 人、世帯 1255 戸
３７年　２月	●産炭地域振興臨時措置法により、産炭地に指定される
４月	●東白川地方町村衛生処理組合設置
７月	●新生活運動、中歴盆、農休日統一
３８年　４月	●村長および村議会議員選挙（村長に石田卯子八［三選］／村議会議員に芳賀悟郎ほか 17 名当選）
３９年　３月	●第 1 次農業構造改善事業開始
	●壇ノ岡に村民運動場設置
６月	●東白川地方町村衛生処理組合し尿処理事業開始
１０月	**東京オリンピック開催**
	●蕨ノ草村有林に杉、松を植林
４０年　２月	●農業センサス：農家数 968 戸
３月	●電気導入、村内 64 戸に点灯
４月	●母子健康センター開所（助産所併設）
５月	●山村振興法制定
９月	●阿武隈山系開発期成同盟会結成（東白川郡 5 町村）
１０月	●国勢調査：人口 7291 人、世帯数結 1249 戸
１１月	●福島県阿武隈山系開発促進協議会成（県内 34 市町村）
４１年　１月	●営農改善のための肉用牛貸付事業（100 頭）
３月	●鮫川村学校給食センター建築
	●第 1 次農業構造改善事業により畜産センター建築、集団桑園造成（青生野、世々麦、鍬木田）
７月	●道路愛護会、建設大臣より表彰
９月	●公職選挙法の改正により永久選挙人名簿となる
１２月	●鮫川村公民館新築
	●渡瀬地区に農集電話設置
４２年　２月	●西野・西山地区に農集電話設置

４２年　４月	●村長および村議会議員選挙（村長に石田卯子八四選［無投票］／村議会議員に芳賀悟朗ほか 17 名当選）
６月	●村道官沢西山線に定期バスが運行される
７月	●林業構造改善事業計画地域に指定される
	住民基本台帳法制定
１０月	●渡瀬小中学校火災、即日災害復旧対策に着手
１１月	●自治制施行 20 周年記念式典
４３年　４月	●鮫川保育所開所（定員 90 名）
５月	●東白川地方町村衛生処理組合塵芥処理事業開始
７月	●広域農業開発事業地域指定の基本調査実施
１１月	●明治 100 年記念式典
４４年　３月	●青生野小中学校校舎火災により焼失
４月	●鮫川中学校と渡瀬中学校統合
	●明治 100 年記念部分林村民の森造成（5.8 ㌶）
４５年　１月	●東野・青生野地区に農集電話設置（村合計加入台数 959 台）
２月	●農業センサス：農家数 951 台
４月	●主要地方道勿来棚倉線、国道 289 号線に昇格
	●過疎地域対策緊急措置法制定
９月	●農村工業導入により織和工業株式会社鮫川工場を誘致
１０月	●国勢調査：人口 6404 人、世帯数 1200 戸
１２月	●山村振興法により鮫川村全域が振興山村に指定
４６年　１月	●白河地方広域市町村圏整備組合に加入
４月	●村長および村議会議員選挙（村長に石田卯子八五選／村議会議員に阿久津光翁ほか 17 名当選）
	●鮫川中学校青生野教室を廃止し生徒を本校に吸収。スクールバス通学となる
	●過疎地域対策緊急措置法により、過疎地域に指定される
４６年　８月	●寝たきり老人家庭奉仕員設置
４７年　１月	●統合鮫川中学校施設整備事業完成祝賀式
	●児童手当支給開始
	●「渡瀬獅子舞」を村指定無形民俗文化財に指定
	●東光寺の「薬師如来立像」を村指定有形文化財に指定
４月	●白河地方広域市町村圏白河消防署鮫川出張所発足
１１月	●村章・村旗制定
	●農村工業導入により田中メリヤス鮫川工場誘致
１２月	●村民運動場建設（陸上自衛隊福島駐屯部隊に整備事業を委託）
４８年　３月	●西野小学校創立 100 年記念式典
	●鮫川村国民健康保険直営診療所および医師住宅建築(赤坂中野字巡ヶ作 119 に移転新築)
４月	●老人保養センター「さぎり荘」開所
	●鮫川村簡易水道給水開始（配水管延長 8,046 ㍍、消火栓 20 基）
７月	●生活合理化運動推進委員会発足
１０月	●西山小学校創立 100 周年記念式典を行う
４９年　２月	●テレビ難視聴地域解消事業実施（遠ヶ竜）
４月	●西山児童館開館（定員 30 名）
５月	●東光寺薬師堂の「薬師如来立像 1 化躰・金剛力士立像 2 躰」県指定重要文財に指定
１０月	●東白川地方畜産振興施設運営組合発足
１１月	●青生野（蒲谷地）から、戸草、広畑、新宿を通過し、大字西山字鬼越に至る村内延長 1,8335.9 ㍍が阿武隈山系地域を縦貫する国道 349 号線として国道審議会を通過
５０年　２月	●農業センサス：農家数 900 戸
４月	●村長および村議会議員選挙（村長に石田卯子八六選［無投票］／村議会議員に大樂勝男ほか 17 名当選）

５０年　５月	●阿武隈南部区域農用地開発公団事業基本計画が農林大臣から認可
	●阿武隈南部区域農用地開発事業着工（農用地開発公団阿武隈南部事業所が青年研修所内に設置）
７月	●高齢者肉用牛飼育モデル事業実施（16 頭）
	●水田飼料作物作付推進家畜導入事業実施（乳牛 24 頭）
	●第 2 次林業構造改善事業計画地域に指定
１０月	●第 2 期山村振興計画樹立地域に指定
	●国勢調査：人口 5700 人、世帯数 1146 戸
１２月	●テレビ難視聴地域解消事業実施（鮫川中央）
５１年　１月	●国民健康保険歯科診療所開設（歯科医師傳邱阿玉）
４月	●鮫川小学校戸草分校を廃止し児童を本校に吸収。
	スクールバス通学実施
７月	●第 2 次林業構造改善事業基本計画および実施計画認定
８月	●村指定史跡 3 件を指定（渡瀬村救荒修祭記碑、追分石、越惣太郎就縛の地）
	●第 2 期山村振興計画承認（実施年度 51～54 年度）
９月	●テレビ難視聴地域解消事業実施（西野・西部）
５２年　３月	●古殿町・鮫川村・石川町隔離病舎組合解散
	●失業対策村営採石場閉鎖
４月	●鮫川小学校東野分校を廃止し、児童を本校に吸収
	●鮫川幼稚園開設（鮫川小学校に併設。1 学級 43 名）
	●渡瀬保育所開所
	●道路管理センター発足
５月	●東白川畜産振興施設運営組合東野牧場開牧
６月	●電話自動化（一般加入電話 270 台、地集電話 928 台）

５２年　８月	●学校給食に米飯を取り入れる（小中学校米飯給食実施）
	●塙町伝染病隔離病舎組合に加入（塙町・矢祭町・鮫川村の一部事務組合）
９月	●山村開発センター建築工事竣工・開所
１０月	●テレビ難視聴地域解消事業実施（西山北・西山南）
１１月	●村道官沢西山線全線舗装完成
	●自治制施行 30 周年記念式典を山村開発センターで行う
５３年　５月	●鹿角平乾草供給センターおよび戸草預託牧場運営開始（東白川地方畜産振興施設運営組合で運営）
１０月	●渡瀬小学校創立 100 周年記念式典
５４年　２月	●鮫川小学校創立 100 周年記念式典
４月	●村長および村議会議員選挙（村長に石田卯子八七選［無投票］／村議会議員に宗田悦次ほか 17 名当選）
	●村青少年健全育成推進協議会発足
	●野菜指定産地近代化事業実施（トマト共同育苗施設、集出荷施設設置）
	●新農業構造改善事業計画地区指定
	●東白川 4 町村社会福祉協議会で寝たきり老人入浴車運行事業開始
１１月	●「水野家書院」村指定有形文化財に指定
５５年　２月	●農業センサス：農家数 872 台
３月	●阿武隈南部区域農用地開発事業完了（総事業費 35 億 5 千万円）
６月	●新農業構造改善事業計画の認定
７月	●永沼歯科鮫川診療所開設
	●鮫川村過疎振興地域計画策定（前期）
１０月	●国勢調査：人口 5537 人、世帯数 1127 戸
	●第 2 次辺地総合整備計画策定
１１月	●慶徳農協より善意の救援米 900 ㌔贈呈
	●冷害対策農道土木事業実施
１２月	●激甚災害の指定（豪雪による森林災害）
	●阿武隈南部区域農用地開発公団事業成果の引渡し（県から村へ）

５５年１２月	●冷害による被災農家に対し、村税減免措置を実施（村税の一部を２月まで猶予）
５６年　１月	●豪雪による村有林被害木の伐倒整理などを救農対策雪害復旧事業として直営で実施
５月	●歴史民俗資料館開館
９月	●母子健康センター助産部門一時休止
１０月	●福島県林野火災防御訓練実施（鹿角平）
１２月	●第３期山村振興農林漁業対策事業計画策定
５７年　３月	●森林雪害対策事業実施 ●第３期山林振興計画認定 ●鮫川村民の歌制定
４月	●母子健康センター助産部門再開 ●鮫川・渡瀬保育所に幼児送迎バス運行開始
５８年　２月	●村内各集落に街路灯設置（174 灯）
３月	●東白川農商高校鮫川分校、大字赤坂中野字宿ノ入 83 に新築移転 ●老人保養センター「さぎり荘」が白河地方広域市町村圏整備組合から村に移管され、村民保養施設として運営
５８年　３月	●鮫川村議会議員定数減少条例改定（18 人を 16 人とする） ●村長および村議会議員選挙（村長に石田卯子八八選［無投票］／村議会議員に森康ほか 15 名当選）
９月	●村民保養施設さぎり荘ゲートボール場完成（4 面）
５９年　４月	●国土調査法に基づく地籍調査実施
５月	●農業者トレーニングセンター屋内水泳プールオープン
８月	●鮫川村第１工業団地造成工事竣工（赤坂西野字見渡地内）
１０月	●奥久慈木材流通センター運営開始（東白川地方広域林業構造改善事業）
１２月	●鮫川村過疎振興計画策定（後期）
６０年　２月	●農業センサス：農家数 843 戸
４月	●母子健康センター助産部門休止 ●高額医療費貸付制度開始 ●農業技術指導センター開所
６０年　６月	●「天狗橋」「鹿角平の草地」「江竜田の滝」がふくしま緑の百景に入選 ●鮫川村指定有形文化財３件指定（折戸阿弥陀三尊像・富田薬師堂・赤坂家長屋門） ●第３次辺地総合整備計画策定
１０月	●国勢調査実施：人口 5423 人、戸数 1157 戸
６１年　２月	●東北電気通信監理局から防災行政無線局認可
４月	●農村情報無線施設開局
５月	●鮫川村青少年広場使用開始
９月	●鮫川村ふる里振興協議会（村・農協・商工会）設立 ●「江竜田の滝」ふくしまの水 30 選に選定
６２年　２月	●社会福祉法人鮫川村社会福祉協議会設立認可
３月	●村税完納 30 年記念式典 ●鮫川村村民憲章制定 ●第１次鮫川村振興計画策定（目標年次 1995 年） ●薬師堂等移設工事完成
４月	●江竜田地区林野大火災発生（焼失面積・人工林 118.77 ㌶、天然林 20.91 ㌶、計 139.68 ㌶） ●村長および村議会議員選挙（村長に芳賀文雄当選／村議会議員に宗田悦次ほか 15 名当選）
５月	●鮫川村名誉村民条例制定
７月	●東京鮫川会結成（会員 204 名）
１０月	●石田卯子八元村長（大字赤坂中野字宿ノ入）鮫川村名誉村民第１号（推載式 10 月 24 日）
１２月	●屋内ゲートボール場開所（旧東白川農商高校鮫川分校体育館）
６３年　３月	●広域営農団地農道整備事業東白川地区鮫川工区（江竜田）着手 ●鮫川村庁舎建設基金の設置、管理および処分に関する条例制定
４月	●母子健康センター助産部門廃止 ●山村留学施設「竹飛歩学園」開園（旧青少年の家）

６３年１０月	●鹿角平観光牧場オープン（「第１回高原の鮫川うまいもの祭り」開催）
１２月	●冷害による救農対策事業実施（村有林保育、土木事業）
６４年　１月	昭和天皇崩御、「昭和」から「平成」へ（1月8日）
平成　元年　３月	●江竜田地区林野火災復旧対策事業実施
	●消防施設整備事業により同設無線戸別受信機526台設置
１１月	●村制施行100周年記念式典（11月3日）
	●村100年史発行
	●歴代村長（公選）頌徳碑建設
２年　３月	●赤十字奉仕団結成
	●酒垂・水口給水施設通水式
５月	●農村総合整備計画作成市町村に指定
	●緑地休養施設「舘山公園」オープン
３年　４月	●鹿角平天文台オープン
５年　３月	●渡瀬簡易水道給水開始
５月	●村道田尻関口線開通
６年　３月	●JRバス廃止に伴い、県内で初めての市町村営バス「あおぞら」を運行開始
	●戸倉地区簡易排水処理施設完成
１２月	●墓地石山農村公園などが完成
７年　１月	●第40回県広報コンクール（町村の部）で「広報さめがわ」特選
２月	●村道福原塙線開通
４月	●村交流施設「ほっとはうす・さめがわ」がオープン
１０月	●ごみの分別収集・ごみ袋指定スタート
１２月	●江戸時代後期の産科蛭田玄仙先生顕彰碑除幕式
８年　１月	●第41回県広報コンクール（町村の部）で「広報さめがわ」佳作
４月	●村高齢者総合福祉センター「ひだまり荘」開所
５月	●真坂農村公園完成
９年　３月	●「ほっとはうす・さめがわ」体験館オープン
	●村税完納40年・地方自治50年記念式典開催
９年　３月	●学校給食センター落成
１０年　１月	●第43回県広報コンクールで「広報さめがわ」が2部門特選、1部門入選
３月	●戸倉地区親水公園竣工式
	●知的障害者授産施設鮫川たんぽぽの家開所式
	●第49回地方植樹祭（ひだまり荘）
４月	●全国広報コンクール（組み写真の部）で「広報さめがわ」入選
５月	●村シルバー人材センター設立
１２月	●国道349号バイパス新宿トンネル貫通式
１１年　１月	●第44回県広報コンクールで「広報さめがわ」が1部門特選、1部門入選、1部門佳作
３月	●地域振興券交付（1380名）
	●村道見渡酒垂線開通式
４月	●余所内地区給水施設通水式（29世帯と集会所施設2か所に給水開始）
	●交通死亡事故ゼロ1000日達成表彰伝達式（4月18日）
	●村長および村議会議員選挙（村長に芳賀文雄四選［無投票］／村議会議員に藤田好幸ほか15名当選［無投票］）
	●ふるさと農道大塩真坂線開通式／中野地区集落排水処理施設通水式
１２年　１月	●国道349号バイパス開通式
	●国蝶オオムラサキ・キャラクターデザインコンテスト審査会
	●第45回県広報コンクールで「広報さめがわ」2部門特選、1部門入選
２月	●青生野小学校創立100周年記念式典
３月	●全国広報コンクールで「広報さめがわ」2部門入選
５月	●棚倉警察署鮫川駐在所新築落成
１３年　１月	●第46回県広報コンクールで「広報さめがわ」1部門特選、1部門入選
２月	●村体協創立30年記念式典
１０月	●鮫川中統合30周年記念式典
１４年　１月	●交通死亡事故ゼロ2000日達成（1月11日）

１４年　１月	●第 47 回県広報コンクールで「広報さめがわ」1 部門特選、1 部門入選、1 部門佳作
５月	●西部地区営農飲雑用水施設・塚本地区用水施設通水式
６月	●「鮫川村立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例」を可決（富田・渡瀬・西野・鮫川の 4 校統合が決定）
７月	●棚倉町・塙町・鮫川村合併協議会の設置議案が可決。法定合併協議会「棚倉町・塙町・鮫川村合併協議会」設置調印式（3 町村での合併についての協議が本格的にスタート）
	●役場新庁舎完成
８月	●「鮫川村立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例」を可決（西山小と鮫川小の統合が決定）
１０月	●村体育協会が社会体育優良団体として文部科学大臣表彰を受賞
１１月	●農道世々麦丸谷地線開通式
１５年　１月	●第 48 回県広報コンクールで「広報さめがわ」1 部門特選、1 部門佳作
３月	●小学校統合に伴い、西野小・西山小・富田小・渡瀬小で閉校記念式典を開催
	●中の沢集落センター完成
４月	●村長および村議会議員選挙（村長に芳賀文雄五選［無投票］／村議会議員に大樂勝弘ほか 13 名当選［無投票］）
７月	●鮫川村が棚倉町・塙町と合併することの賛否を問う住民投票（賛成 28.95%、反対 69.69%。鮫川村と塙町で反対多数となる）
	●第 13 回棚倉町・塙町・鮫川村合併協議会が開催され、住民投票の結果を受けて協議会が解散
８月	●芳賀村長辞職に伴う村長選挙（村長に大樂勝弘当選）
１６年　１月	●第 49 回県広報コンクールで「広報さめがわ」1 部門特選、1 部門佳作
１０月	●交通死亡事故ゼロ 3000 日達成（10 月 8 日）
１７年　４月	●こどもセンター開所
	●村環境学習館開館
１７年　６月	●渡瀬区継続完納 50 年達成記念式典
７月	●富田区継続完納 50 年達成記念式典
１１月	●村農産物加工・直売所「手・まめ・館」オープン
１８年　１月	●こどもセンター園歌がタケカワユキヒデ氏より寄贈
	●「まめで達者な村づくり事業」が地域づくり総務大臣表彰（地域振興部門）を受賞
３月	●古殿町・鮫川村学校給食調理業務委託に関する調印式
７月	●赤坂西野区継続完納 50 年達成記念式典
	●青生野区継続完納50年達成記念式典
１８年　７月	●赤坂中野区継続完納 50 年達成記念式典
８月	●古殿町へ学校給食配送開始
１９年　４月	●「紙おむつ支援事業」、「妊娠健康検査の公費負担」
	●村議会議員選挙（前田三郎ほか 11 名当選）
６月	●村税完納 50 年を祝う納税表彰式
７月	●交通死亡事故ゼロ 4000 日達成（7 月 5 日）
８月	●村長選挙（大樂勝弘再選［無投票］）
９月	●赤坂東野区・石井草区継続完納 50 年達成記念式典
２０年　１月	●「達者の味噌」が福島県ブランド認証産品認定
４月	●特定健診・保健指導制度スタート
	●鮫川村農村体験交流施設「山王の里」オープン
７月	●鮫川村農村体験交流協議会（GT 協議会）の発足
８月	●ゆうきの里づくり研修会にて鮫川村バイオマスヴィレッジ構想の発表
９月	●東石区納税貯蓄組合に振興局長から感謝状
	●個人県民税 46 年連続達成
１１月	●裁判員制度開始
	●鮫川村ゆうきの里づくりブランド認定書（7 作物・24 品種）認定

２１年　３月	●特養さめがわ・グループホームさめがわ開設
４月	●岩野草地区給水施設通水
７月	●環境美化宣言採択
１０月	●平成 21 年度交通安全功労者表彰で村が交通対策本部長表彰受賞
１１月	●村学校給食センター第 4 回全国学校給食甲子園入賞
２２年　４月	●村商工会青年部設立 40 周年記念式典
８月	●鮫川村と東京農大が連携協定調印
	●光ファイバー網整備
９月	●村学校給食センター学校給食優良団体受賞
２２年１２月	●村学校給食センター第 5 回全国学校給食甲子園 2 年連続入賞
２３年　１月	●村学校給食センター第 3 回地産地消給食等メニューコンテストにて農林水産省生産局長と審査委員特別受賞
３月	●東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生、村の震度 5 弱
	●村学校給食センターが「食育」活動優良事例表彰式にて東北農政局長賞受賞
	●「さめがわ民話の会」発足
	●村議会議員選挙（前田三郎ほか 11 名当選［無投票］）
	●消防団 3 分団制に変更
	●村民保養施設「さぎり荘」改築
５月	●手・まめ・館喫茶オープン
８月	●村長選挙（大樂勝弘三選［無投票］）
１０月	●大字青生野新設
１２月	●村学校給食センター文部科学大臣表彰受賞
２４年　４月	●鹿角平クロスカントリーコースオープン
	●落合地区給水施設通水
８月	●西山区継続完納 60 年達成
１２月	●村学校給食センター第 7 回全国学校給食甲子園入賞
２５年　１月	●第 58 回県広報コンクール（町村の部）で「広報さめがわ」入選
２月	●鮫川村豊かな土づくりセンター「ゆうきの郷土」開所
３月	●仮設焼却炉監視委員会による監視活動開始
４月	●鮫川村図書館再オープン
６月	●ふるさと林道「酒垂宝木線」開通
７月	●交通死亡事故ゼロ 1000 日達成
１１月	●村民の店「すまいる」オープン
１２月	●村学校給食センター第 8 回学校給食甲子園協賛企業賞
２６年　１月	●第 59 回県広報コンクール（町村の部）で「広報さめがわ」入選
３月	●第 1 回鮫川村こども模擬議会
	●さぎり荘県建築文化賞復興賞受賞
２６年　３月	●仮設焼却施設運転再開
６月	●青生野小「子どもの読書活動優秀実践校」文部科学大臣表彰
２７年　１月	●第 60 回県広報コンクール（町村の部）で「広報さめがわ」入選
４月	●第 4 次鮫川村振興計画の基本構想策定
	●村議会議員選挙（関根英也ほか 9 名当選）
６月	●鹿角平クロスカントリー林間コース完成記念式典を行う
８月	●富田区・渡瀬区納税継続完納 60 年達成
１０月	●村長選挙（大樂勝弘四選［無投票］）
	マイナンバー制度開始
１２月	**個人番号カード交付始まる**
２８年　１月	●第 61 回県広報コンクール（町村の部）で「広報さめがわ」入選
４月	●交通死亡事故ゼロ 2000 日達成
	●第 1 回鮫川村人口ビジョン・総合戦略策定
５月	●村学校給食センターがふくしま地産地消大賞受賞
	●鹿角平クロスカントリー桜 100 本植樹（桜の名所づくり事業）
６月	●さぎり荘入館者 15 万人、村民の店「すまいる」来店者 10 万人達成
９月	●赤坂西野区・赤坂中野区継続完納 60 年達成
１１月	●鮫川村仮設焼却炉監視委員会解散

２８年１１月	●第９回地産地消給食等メニューコンテスト東北農政局長賞
１２月	●青生野区継続完納 60 年達成
２９年　４月	●役場組織５課制に変更
６月	●鹿野角平天文台の望遠鏡リニューアル
７月	●赤坂東野区･石井草区継続完納 60 年達成
１０月	●青生野小学校統合
１１月	●高原の鮫川うまいもの祭り 30 周年
３０年　３月	●青生野小学校閉校記念式典
４月	●こどもセンター、幼保連携型認定こども園に移行
３０年　５月	●鍬木田配水池更新
７月	●鮫川村消防団、福島民報社金ばれん受賞
３１年　４月	●村議会議員選挙（関根政雄ほか９名当選［無投票］）
５月	**上皇陛下生前退位、「平成」から「令和」へ（5 月 1 日）**
令和　元年　８月	●村長選挙（関根政雄当選）
９月	●村議会議員補欠選挙（関根浩治当選［無投票］）
１０月	**消費税 10%に引き上げ**
２年　２月	●青少年広場改修工事完成式典を行う
	●全国広報コンクール 2020「村ホームページ」ウェブサイト（町村部）入賞
９月	●県知事より個人県民税優良町村感謝状
	●村赤十字奉仕団、赤十字社長感謝状受賞
３年　３月	●交流施設「ほっとはうす・さめがわ」閉鎖
４月	●お食事処温泉旅館「結び」オープン
９月	●学校教育検討委員会の発足
１０月	●地域活性化起業人(株)ルネサンス締結
４年　３月	●福島県立修明高校学校鮫川校閉校
６月	●鮫川村とよい仕事おこしフェア実行委員会（事務局:城南信用金庫）が包括連携協定締結
９月	●鮫池伝説海と日本プロジェクト「海ノ民話のまち」認定
１２月	●鮫川村指定有形文化財２件指定（赤坂舘、熊野神社飛翔獅子型狛犬）
	●鮫川村天然記念物１件指定（強滝甌穴群）
５年　３月	●地域活性化起業人ティー・エス・ビー(株)締結
	●国道 289 号線渡瀬バイパス開通
４月	●役場組織５課１室制に変更
	●村議会議員選挙（緑川茂ほか９名当選）
７月	●交通死亡事故ゼロ 1000 日達成

鮫川村勢要覧資料編

Samegawa Data Book

発行　福島県鮫川村

〒963-8401

福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿 39 番地５

電話 0247-57-6332　FAX 0247-49-3363

URL https://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

Ｅメール suishin@vill.samegawa.fukushima.jp

編集　鮫川村役場 村づくり推進室